

言語と文化を超えて一つに

— 第六回 ^{そがん}西江大学 - 上智大学 韓・日定期戦SOFEX —

Towards One, Overcoming Language and Culture:

The 6th Annual Sogang-Sophia Festival of Exchange (SOFEX)

西江大学国際チーム キム・ヒョンス

KIM Hyunsu

(International Student Recruitment & Services, Office of International Affairs,
Sogang University)

キーワード：大学間交流、韓日、グローバル人材育成

1. 西江大学紹介¹

西江大学²は1960年の開校と共に、伝統的なイエズス会の教育理念と新たに立ち上げられた学士制度を基に短期間で名門私立大学に発展し、大韓民国の大学教育の道しるべとなってきた。また、大学教育以外にも、西江大学は大韓民国の首都、ソウルの中心部、新村に位置するという地理的な利点を基に延世大学、梨花女子大学、弘益大学と共に大学街を形成し、音楽・美術・演劇・映画等の芸術文化と流行を先導する役割を担っている。

西江大学は過去50年間の成果に留まることなく、絶え間ない挑戦と革新の姿勢を貫き、再び大学教育の新しいパラダイムを築いている。特に、西江大学は、2012年に国内で初めて知識融合学部を新設し、アート&テクノロジー学科において、人文学と工学・芸術が融合されたスマート時代を先導する創造的な人材を養成している。更に、西江大学は需要者中心の開かれた双方向教育を最高の教育価値に掲げ、学生たちが成績と人員・募集単位の制限に囚われず、自身の適性と進路を自由に探索し、追加選択ができるように多専攻制度を積極的に運営している。これによりニーズに合った就職支援と公共人材養成のための支援や、最高レベルの心理相談等、学生たちが最も必要とするサービスを積極的に支援し、学生たちの満足度を最大化している。

¹ <http://www.sogang.ac.kr/english/>

² 韓国では、日本の4年制大学を正式には「大学校」と称するが、本稿では「大学」と表記する。

未来社会を先導する人材育成に惜しみのない投資をし、世界的なトレンドを先導する西江大学は世界51カ国317大学と学問的・人的交流を活発に行っており、約80カ国4,000名余りの外国人留学生が、西江の教育理念の下で修学している。これからも西江は、大韓民国を越えて世界で競争する大学へと発展を続けようとしている。

2. 西江大学 - 上智大学韓・日定期戦 (SOFEX) 実施のきっかけ

西江大学と上智大学は韓日両国を代表するイエズス会大学として1983年に姉妹校の協定を締結し、相互交流を開始した。西江大学は学生たちのグローバルマインドを涵養する全人的人材養成の方法として、上智大学に定期的な体育・文化交流戦を提案し、西江大学開校50周年を迎えた2010年、協約を締結して、西江大学 - 上智大学韓・日定期戦（以下 SOFEX、Sogang-Sophia Festival of Exchange）を開始した。初年度にスポーツ種目での交流を始め、それ以降は文化・学術分野へと交流の範囲を広げてきている。SOFEX は単純な交流戦を超え、国際的な眼識とマインドを確立する機会を提供することにより、学生たちが自然とグローバル人材に成長することができるプログラムになるだろう。

3. SOFEX の意義と苦労

このSOFEXについては、何よりも、両大学の学生が出会い、試合をし、懇親を深め直接交流する姿を見ることに、最も意義がある。また、SOFEX を準備するときに流した汗が、試合場で、舞台の上で光を放つとき、やり甲斐を感じられる。

毎年韓国と日本を行き交う行事の特性上、相手校でSOFEXが行われる時には、より多くの学生が参加することが難しいという難点はある。しかし、学生たちの関心が高まっていることもあり、オンライン中継を通し、多くの学生が参加できるように図っている。

4. SOFEX が参加学生に与える影響

学校を代表して大学間交流の舞台に立ち、国家を超えて意思の疎通をはかることは参加学生のグローバルマインドを涵養する大切な経験になる。SOFEX が今年で第六回目を迎え、学生達の間では行事の後も、SOFEX を通じて縁を結んだ学生達同士で SNS を通じて連絡をし合い、活発に交流を続けている。

また、参加大学の勝利と素晴らしい公演をするための善意の競争をする過程で、協同する方法と忍耐を学ぶことができる。他にも、文化・学術分野の討論を通じて日本人学生たちの価値観と世界観を学び、情緒的な交流を通じて様々な識見を持つことができる。

5. 第6回 SOFEX

2015年11月13日(金)から15日(日)まで、上智大学の四谷キャンパスで、第六回 SOFEX が開催された。SOFEX は本校と上智大学が毎年韓国と日本を行き来しながら行う交流の場である。今年は本校から上智大学に151名の学生と教職員が派遣された。



2015年11月13日(金)午後八時から、壮大な太鼓の音に合わせ両校の校旗が入場し SOFEX の始まりを告げる開幕式が行われた。この日、開幕式には本校のキム・ジョンテク理事長、ユ・ギプン総長、上智大学の高祖敏明理事長、早下隆士学長他が参加した。キム・ジョンテク理事長は「上智大学のキャンパスは二年前と変わりがないが、西江大学と上智大学の友情はより深くなった。」と述べ、SOFEX を通じて両校がより近くなったことを強調した。



開幕式の後には両校の伝統武術(テコンドー・空手)の模範演技と応援団の公演が行われた。二つのスポーツを観覧した日本の学生は「テコンドーと空手の両方から強さを感じた」と述べながらも、「ただ、その強さが空手の場合は静的であるとすれば、テコンドーの場合は動的で印象的だった。」と述べた。

応援団の公演の際、両国の応援文化の違いが感じ取れた。上智大学は伝統衣装を着た応援団長とチアリーダーと一緒に独特な雰囲気を出した。また、長さが5メートルにもなる応援旗を立てるのを見ることもできた。本校のトライパシー（応援団サークル）は、日本語の案内を準備し、日本の学生に親しみのある日本の曲を追加し、日本の学生の関心を喚起させた。



2015年11月14日(土)にはスポーツ、文化・学習分野の交流が行われた。今回の SOFEX ではバスケットボール、サッカー、綱引きなどの既存のスポーツ種目に新しい種目として卓球が追加された。バスケットボール代表チームは逆転と再逆転を繰り返したが、惜しくも 65 対 64 で惜敗し、続いて行われた綱引きでも惜しくも敗れた。雨天の影響で秦野キャンパスで行われたサッカーの試合は雨中激闘の結果 3 対 2 の大逆転劇を成し遂げた。卓球の試合では第 1 ゲームのシングルで第 1 セットを先取した後、第 4 セットでデュースに持ち込む接戦を見せたが、惜しくも敗れた。



また、様々な文化・学習分野の交流も行われた。午前には学習分野交流の英語討論と日本文化体験が行われた。英語ディベートは学校別予選と学校間決勝という形で進行された。学校間決勝の主題は「女性の自由は既に確立されている宗教と両立できるのか？」であり、優勝は本校のパク・ヒョンジュン（英米語文 06）とチョン・ジイン（政治外交 15）の手に帰した。そして茶道、書道、生け花などの様々な日本文化を体験するプログラムも用意された。

午後には多様な公演活動が行われた。伝統文化公演は、日本の伝統楽器の琴、三味線、尺八などを演奏する箏曲、そして韓国のボンサンタルチュム（鳳山仮面劇）³、サムルノリ⁴の公演が披露された。続いて行われた本校の音楽バンド「狂夜」、「キンジャックス」の公演では韓日の学生が入り混じり公演を楽しみ体育館を盛り上げた。また最後に行われた本校のダンスサークル「ショック」の公演は、一段と盛り上がった公演の雰囲気の高潮であった。

午後八時には SOFEX の幕を下ろす閉幕式が進行された。上智大学の早下隆士学長は各試合に勝利したチームにお祝いを伝え、「惜しくも敗れてしまったチームの努力も記憶しなければならない」と強調した。長い間準備してきた SOFEX が大団円の幕を下ろすという惜しい気持ちを後に、次の SOFEX を期し SOFEX の旗が上智大学から来年の主催校である西江大学に伝達された。

今年で開催 6 年目となる SOFEX は、キャッチフレーズの Long-lasting Friendship に相応しい両校学生間の交流の場が広がっている。特に今年は（株）ウリ銀行、（株）マリオ・アウトレット、（株）ザイクロの協賛を通じて、より成功裏に行事を終えることができた。来年更に一層発展した SOFEX2016 が期待される。

6. 日本人留学生の西江大学留学・SOFEX 体験談（Tasaki Amika さん）

私は、2012 年に西江大学に入学し、現在は 4 年生で卒業を目前にしています。私が西江大学に入学した時は日本人学生が多くなかったため、どのようにして韓国の大学に慣れていこうかと心配していました。

そこで、私は早く韓国の大学に馴染む為に学校内の部活に参加することに決めました。韓国では、大学生活は大きく 2 つに分かれています。学科内での活動と部活やサークルなどの活動です。その中で私は、学科以外の学生達と活動できる部活動を選び、部活動に一生懸命取り組みました。西江大学には、様々な活動を行っている部活やサークルがあり、西江大学に通っている学生なら誰もが参加できます。もちろん、外国人留学生も同じ条件で参加ができます。部活動を通じて、様々な学科を専攻している友達に出会うことができます。

それだけではなく、部活動を通じて様々な大会にも参加ができ、その他に校外活動にも参加するこ

³ http://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/CU/CU_JA_2_1_3.jsp を参照。

⁴ 韓国の伝統芸能である「農楽」をアレンジした打楽器による舞台芸術。

とができます。私は、西江バスケットボール部という部活に所属し、大会にも参加しました。そして、ソウル特別市の代表として全国大会に参加しました。西江大学が毎年行っている日本の上智大学との交流戦”SOFEX”ではバスケット部代表のマネージャー兼、同時通訳で参加しました。このような経験は、私の大学生活の中で忘れられない思い出となりました。これから、西江大学に留学を考えている皆さんも西江大学での様々な活動を通し、沢山の経験をして韓国留学をより良い充実したものとなることを願っています。

